まきのはら 教育委員会だより
なないろ
August 2025
VOL.52

「私の主張2025」牧之原市優秀作品の表彰を実施しました

静岡県教育委員会主催の「わたしの主張2025静岡県大会」への応募に伴い、牧之原市においても、青少年の健全な成長を願い、令和７年７月14日（月）に市内優秀作品を表彰しました。

なお、優秀賞を受賞されました作品は、市ホームページへ掲載するとともに、令和７年11月22日（土）開催の「子供・若者育成支援推進強調月間静岡県大会in牧之原市」当日に、会場の相良総合センター い～らに展示します。ぜひ、お読みください。

この県大会の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください。

（市HP）

受賞者及び作品名

▼相良中学校３年　今駒　もあ（いまこま　もあ）　さん
題名：「考える」重さを貴方は「知っている」か

▼榛原中学校３年　櫻井　世奈　（さくらい　せな）　さん
題名：「人と関わる」が私にくれたこと

▼牧之原中学校３年　和田　弥樹（わだ　ひろき）さん
題名：推しから学んだこと

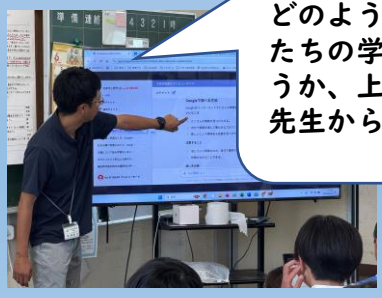
▼御前崎中学校３年　石津　彩（いしづ　あや）　さん
題名：少年問題と家庭環境の関係

＜社会教育課　TEL：0548-53-2646＞

市内小中学校に教育特化型生成AI導入

小学校５年生～中学校３年生までの子どもたちが、学習活動において安心安全に利用できる、「スタディポケット」という“教育特化型”生成AIを導入しました。

自治体レベルでの生成AIの導入は県下初です。探究的な学習や問題解決型学習において、子どもたちの学びの伴走者となることが期待されます。より効果的に学習に取り入れることができるよう、教職員の研修にも力を入れていきます。



どのように使えば自分たちの学びが深まりそうか、上手な使い方を先生から学びます。

生成AIにちょっとした疑問点を聞いて関係する情報に繋げてもらったり、自分の意見に不明瞭な点がないか確認してもらったりして、考えをブラッシュアップし友達との学びに生かします！

＜学校教育課　TEL：0548-53-2645＞

マリンスポーツイベントを実施しました

７月20日、御前崎港マリーナにて「マリンスポーツフェスタ2025」を開催しました。

毎年、当市と御前崎市が連携して開催しており、市内外より約500人の来場者で大いに賑わいました。今年度は、バナナボート・水上バイク・クルーザーにて１回５００円で体験を行いました。カヌー・SUPは例年通り無料で体験を行い、参加者はマリンスポーツを思い思いに楽しみました。

その他にも７月５日には、静波海岸にて「キッズサーフィンスクール」を開催しました。午前・午後を合わせ約100人が参加し、サーフィン指導により楽しく波に乗りました。

続いて７月26日には、地頭方海浜公園で「砂ASO Beach In牧之原」を開催し、海に入らない海辺での遊びを楽しみました。参加者は夏の海を満喫しました。

▲キッズサーフィンスクール

▲マリンスポーツフェスタ

▲砂ASO Beach In牧之原

＜スポーツ推進課　TEL：0548-53-2643＞

新しい学校づくり通信　Vol.8

施設の計画（屋外施設計画）について

施設共通の考え方（適切な規模・維持管理と可変性・自然環境との調和・安全な配置）をベースに、地域の特性も踏まえ、防災拠点や地域交流、学習の場として多面的に活用できるよう整備します。

グラウンド　多目的利用と安全性

- 授業、休み時間、運動会、部活動、地域イベントなど多様な用途に対応。
- 1～9年生まで幅広い年齢の子どもたちが、活動内容に応じて安全に使い分けできるよう、併設された複数規模のグラウンドを整備。

駐　車　場　安全な動線計画と渋滞の軽減

- 徒歩・自転車・スクールバス・自家用車の動線を分離し、死角ができにくいつくりとするなど、安全対策を徹底。
- 敷地内車路を長くし、敷地内で滞留できるようにすることで送迎が増える雨天やイベント時でも渋滞が発生しないよう工夫。

次号では、より具体的な施設の計画（設備計画）についてお知らせします。
検討の過程や基本構想・基本計画の内容は、市HPからご覧ください。
https://www.city.makinohara.shizuoka.jp/site/kyouiku/list98-310.html

新しい学校づくりワークショップを開催しました！

子どもたちがワクワクして、**「この学校に毎日通いたい！」**と思ってもらえるよう、子どもたちの声を聴くためのワークショップを6月に開催しました！

榛原地域の小学生12名、榛原中学校の生徒23名が参加してくれました！

小学生ワークショップ

設計者（一級建築士）の人たちと学校の平面図や模型を見ながら、新しい学校をイメージ

中学生ワークショップ

こんなにたくさんのアイデアがでました！

ストリートピアノやシアター室、休み時間に休憩できるスペースなど、自由で素敵なアイデアがたくさん出ました！

子どもたちの声を活かし、新しい学校の設計を進めていきます！

＜学校再編推進室　TEL：0548-53-2640＞

ぼくまち ～2025～

【KIDSTOWN ぼくらのまちのはら2025】を開催します♪

「こどものための　こどもによるまちづくり」をテーマに、仮想都市「KIDSTOWN ぼくらのまちのはら（愛称「ぼくまち」）」をつくります。今年は市制20周年、ぼくまち10周年を記念して、２日間開催します！

「ぼくまち」は、いろいろなものや人との関わりを通して自主性や主体性を育むことで、郷土愛あふれる牧之原市の未来を担う子どもへ成長することを目的としています。
みんなで『まち』を作るために、「こどもスタッフ」は７月からミーティングを行い、ルールづくりやお店の準備をしています。

当日『まち』で働いたり遊んだりできる「ぼくまち市民」は、小学校１年生から中学校３年生までの子どもが参加できます。皆さんぜひ遊びに来てください☆

☆ぼくまちではどんなことをするの？
「まち」の市民として登録し、仕事を探し、働き、給料をもらい、買い物をしたり税金を納めたりして、参加する子どもたち全員で「まち」をつくります。

開催日時

〇日時：8/23（土）、8/24（日）
両日とも10：00～14：00
〇会場：相良総合センター　い～ら

詳しくは『まちのはら』で検索してHPをご覧ください。

＜まきのはらキッズ夢サポーター　事務局090-2477-9483（社会教育課：0548-53-2646）＞

HP：http://boku-machi.net

―編集後記―

長い夏休みも終わりを迎えようとしています。今年も子どもたちは、家庭や地域での体験、友達との遊び、読書や自由研究などを通して、それぞれに豊かな学びを重ねてきたことでしょう。普段の学校生活とは少し違った時間の中で、自分の好きなことに夢中になったり、新しい挑戦をしたりする姿は、子どもたちにとって大きな成長の糧となったに違いありません。

休み明けには、背丈が少し伸びただけでなく、心も一回り大きくなった子どもたちに出会えることを楽しみにしています。新学期が始まれば、また友達や先生とともに学び合い、挑戦の日々が待っています。私たちも、子どもたち一人ひとりの成長を温かく見守っていきたいと思います。

＜編集委員長　池ケ谷　祐太＞

〇ご意見・ご感想などお待ちしております↓
発行：牧之原市教育委員会・牧之原市菊川市学校組合教育委員会
電話：53-2642　　FAX：53-2657　　メール：kyoiku@city.makinohara.lg.jp